

製品区分別売上高

2010年3月期における当社グループの連結売上高は8,089億円となり、前期7,274億円から11.2%の増収となりました。

当期のエレクトロニクス市場は世界経済同様、前期末に底を打ったセット製品(最終財)の生産台数が当期末に向けて増加基調となりました。しかし、新興国の早期回復に伴って低価格製品が普及したことにより、低価格製品と高性能製品の二極化がさらに加速しました。また、先進国においては雇用の改善が遅れていることもあり最終消費の回復が鈍く、価格下落が続いています。

受動部品



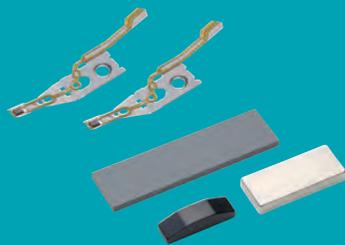
■ 主要製品

- セラミックコンデンサ
- アルミ電解コンデンサ
- フィルムコンデンサ
- インダクティブ・デバイス
- 高周波部品
- 圧電材料部品&回路保護部品
- センサ

■ 2010年3月期の業績概要

前期比27.3%の増収。当セグメントすべての事業で売上高は増加。
各事業の売上高の増加要因は、コンデンサ事業は産業機器、インダクティブ・デバイス事業は自動車、高周波部品事業は通信機器、圧電材料部品他の事業は自動車及び産業機器の各市場向けでの増収。

磁気応用製品



■ 主要製品

- 記録デバイス
- 電源
- マグネット
- 記録メディア

■ 2010年3月期の業績概要

前期比3.6%の増収。電源、マグネット、記録メディアの各事業で売上高は減少したものの、HDD用ヘッドを主要製品とする記録デバイス事業が増収となり、当セグメントを牽引。

その他



■ 主要製品

- エナジーデバイス(二次電池)
- フラッシュメモリ応用デバイス
- ディスプレイ
- メカトロニクス(製造設備)

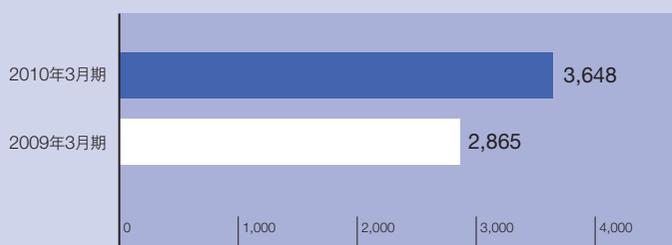
■ 2010年3月期の業績概要

前期比14.5%の減収。エナジーデバイス事業の売上高減少が要因。

その結果、金額ベースでの市場規模は生産台数ほどには回復していません。

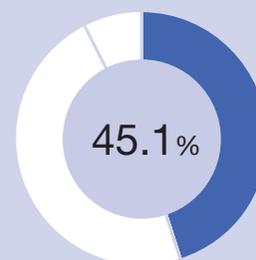
なお、当社グループは、事業を受動部品及び磁気応用製品の2つのセグメントとし、また、それらに該当しない事業をその他の区分としています。

■ 受動部品の売上高推移 (億円)

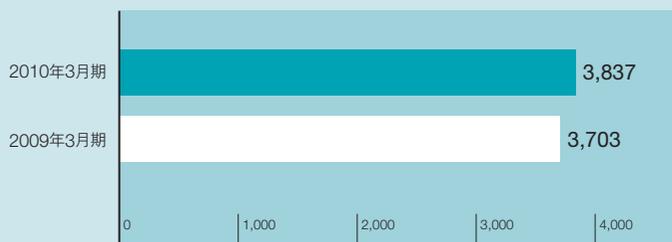


■ 受動部品の売上高構成比

2010年3月期

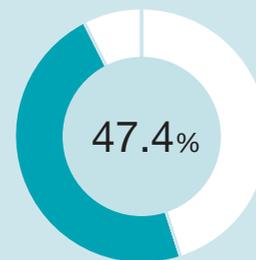


■ 磁気応用製品の売上高推移 (億円)

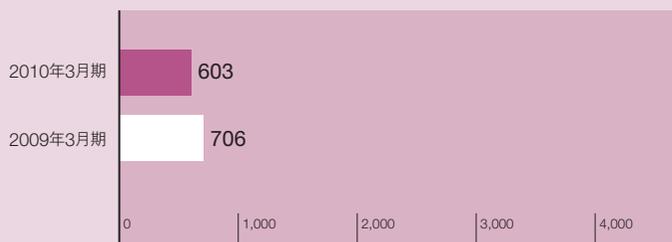


■ 磁気応用製品の売上高構成比

2010年3月期



■ その他の売上高推移 (億円)



■ その他の売上高構成比

2010年3月期

